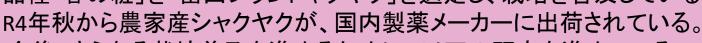
富山シャクヤクのブランド化推進事業

H24年度~ センター内圃場の230品種のシャクヤクの中から、薬用として有用な切り花用品種「春の粧」を「富山ブランドャクヤク」を選定し、栽培を普及している。



今後、さらなる栽培普及を進めるために、以下の研究を進めている。



品質保証及び安定供給体制の確立

目的

研究計画 R6~8 「春の粧」の品質の高さを保証し、安定供給するための体制を構築する。 毎年秋にセンター内圃場及び栽培農家圃場において収穫されるシャクヤクの 生根収量及び有効成分分析を行い、データを集積し、今後の農家への栽培 指導に活かす。また、栽培・加工の工程の中で重要な管理項目を設定する。



春の粧

安定生産に向けた肥培管理方法の検討

目的

これまで の成果

研究計画 R6~8 「春の粧」の栽培普及のために、収量と品質の高位安定が得られ、かつ作業の慮された普及技術を確立する。

基本的な栽培方法はほぼ解明、追肥量の検討等により、単収 3t/10aが可能 生育・収量調査による施肥量等の検証、液肥供給システムによる施肥 等、省力的な技術について、現場への普及に参考となる事例を調査



生産者の栽培圃場

成分分析

目的

成分分析により「春の粧」の品質を保証し、栽培及び販売の促進さらにブランド化の推進に寄与する。

研究計画 R6~8

- ①上記各試験サンプルの成分分析を行う。
- ②一部サンプルについて日局(全項目)を実施し、日局品としての品質を確認する。
- ・生薬の性状・純度試験(重金属)(ヒ素))・灰分・確認試験(呈色)(TLC)・乾燥減量・酸不溶性灰分